

平成30年度 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名		実施主体					
チャレンジアート事業		東区役所企画総務課					
事業目的	事業効果	成果指標(上段:チャレンジアート、下段:アートフェスタ)	成果				
			H28	H29	H30		
各ワークショップでの取組みを通して親子の絆を深めるふれあいの機会を提供するとともに、東区で活動する芸術家と協働で作品づくりに取り組むことで、区民の芸術・文化活動に対する関心を深め、地域の芸術文化活動のさらなる活性化に寄与することを目的とする。また、ワークショップで作成した作品をアートフェスタで展示し、広く区民に芸術・文化とふれあう機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ○親子で協働して作品制作に取り組むことで、親子の絆を深める ○区民が芸術文化を身近に感じる機会を提供することにより、芸術文化に対する関心を高める ○地域の芸術家と参加者が交流することにより、地域の連帯感を生み出す 	アンケートによる満足度調査(良かったの割合)	親子:97% 区民:100%	親子:100% 区民:97%	親子:97% 区民:100%		
		各教室の参加組(人)数	親子:41組 区民:53人	親子:34組 区民:48人	親子:33組 区民:41人		
		来場者数	1,083人		1,016人	846人	
		講演会・演奏会参加者数					
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	芸術・文化にふれあえる機会を創出し、区民の芸術・文化に対する関心の向上や子どもたちの豊かな感性の醸成など、地域全体の芸術・文化の振興を図る事業であるため行政が実施すべき事業である。	○	区域で活動する芸術家たちと協働で事業を企画・実施。	○	チャレンジアートでは、作品作りを通じて、地域で活動している芸術家との交流や、親子のふれあいの機会を創出している。またアートフェスタでは、区民が制作した作品とともに、東区を中心に活動しているプロのアーティスト達の作品展と同時開催することにより幅広い年齢層や区内外へ広くPRしている。	○	アートひがし作品展(アートひがし実行委員会主催)とアートフェスタを同時に開催することにより、来場者にチャレンジアートをPRできる。また、区役所ロビーにて、チャレンジアートの紹介とアートフェスタ開催予告のパネル展を行い、来庁者に広くPRを行った。
⑤自立発展性		総合評価					
△	地域全体で芸術に取り組む意識を醸成するために、現段階では行政の主導で実施すべき事業である。	○ チャレンジアートに関しては、参加者のアンケート結果では、いずれの教室も非常に満足度が高い結果となっている。今年度は教室数を一つ減らしたが、参加者数はおおむね同数となった。また、アートフェスタについては、アートひがし実行委員会が大正琴のミニコンサートを開催した。来場者のアンケート結果も好評をいただいております。アンケート回答者の17%が通りすがりであることから気軽に来場していただいた事が分かる。ワークショップは参加希望者が多く、会場が満員の状態となった。次年度以降も、工夫・改善を加えながら継続して実施していきたい。					
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	チャレンジアート、ひがしアートフェスタともに満足度は高評価であった。また、チャレンジアートについては、より多くの方に参加いただけるように、広報の方法等について工夫したい。次年度以降も、自立した部門を含めて継続・発展的に事業が展開できるよう、アートひがし実行委員会としっかり連携しながら、区民の皆さんが気軽に芸術・文化にふれあえる場となるよう工夫・改善に取り組んでいきたい。						